

点検・評価の様式（手引版雛形）

政府統計コード	00450321
基幹・一般の別（選択記入）	その他の一般統計調査
調査の名称	消費生活協同組合（連合会）実態調査
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択（複数選択可）	<input type="checkbox"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="checkbox"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="checkbox"/> 月例経済報告に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/> その他
特記事項	

① 調査計画との整合性確保等の観点

調査計画との整合性 (整合している場合チェック)	<div><div><div><div>☐ 1.調査の目的</div><div>☐ 2.調査対象の範囲 ※</div><div>☐ 3.報告者数等※</div><div>☐ 4.報告事項とその基準期日 ※</div><div>☐ 5.報告の方法 ※</div><div>☐ 6.報告を求める期間 ※</div><div>☐ 7.集計事項 ※</div><div>☐ 8.結果の公表方法及び期日 ※</div><div>☐ 9.使用する統計基準</div><div>☐ 10.調査票情報の保存</div><div>☐ 11.立入検査</div></div><div><div>報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等</div><div>報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間</div><div>報告を求めるために用いる方法</div><div>調査結果の公表の方法及び期日</div><div>調査票情報の保存期間及び保存責任者</div><div>基幹統計調査のみ</div></div></div></div> <div>全項目整合</div>
-----------------------------	---

(注1)「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

(注2) 不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討（予定）している事項がある場合はシート②で記載

② 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の整備・共有の状況及び実際の業務の実施状況の確認等	<div><div><div>□ 課題なし</div><div>□ 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む）</div><div>□ その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）</div></div></div>
-----------------------------------	--

	見直し・改善の概要（自由記入）	見直し・改善の内容（左記の類型） （該当するものを選択、複数選択可能）	見直し・改善の対応方法・手段 （複数選択可能）	対応状況 （選択記入）
記入欄 No. 1	令和2年度以前は国から都道府県を経由して組合（連合会）へ調査票を配布し回収を行っていたが、令和3年度以降は国から業務委託を受けた事業者が直接組合（連合会）へ調査票を配布し回収することとなり、集計の迅速化が図られたことから、令和6年度調査から調査結果の公表時期を調査実施翌年の5月から3月末に見直しを行う。 また、公表時期に併せて調査時期についても検討を行い、総務省と協議のうえ、令和7年度の調査より変更を予定している。	<div><div>○ 調査計画の見直し・改善</div><div>業務マニュアル等の整備・充実・改善</div><div>品質の表示</div><div>変更管理の実施</div><div>遅延調査票への対応</div><div>外部委託先からの意見や改善提案の聴取</div><div>DXの実施、データのデジタル化</div><div>システムの要件・仕様の可視化</div><div>プロセス診断結果の取り込み</div><div>その他プロセスの段階的な向上に向けた取組</div></div>	<div><div>○ 調査計画の変更申請</div><div>調査計画の軽微変更</div><div>業務マニュアルの整備・充実</div><div>実施方法の見直し</div><div>その他</div></div>	対応中/対応予定
記入欄 No. 2	業務マニュアルについて、令和5年度に実施した省内の業務マニュアルの点検結果を踏まえ、拡充が必要な業務マニュアルの洗い出しを行い、業務マニュアルの拡充に向けたスケジュールを策定し、今後、令和7年度までに業務マニュアルの拡充を行う。	<div><div>○ 調査計画の見直し・改善</div><div>業務マニュアル等の整備・充実・改善</div><div>品質の表示</div><div>変更管理の実施</div><div>遅延調査票への対応</div><div>外部委託先からの意見や改善提案の聴取</div><div>DXの実施、データのデジタル化</div><div>システムの要件・仕様の可視化</div><div>プロセス診断結果の取り込み</div><div>その他プロセスの段階的な向上に向けた取組</div></div>	<div><div>○ 調査計画の変更申請</div><div>調査計画の軽微変更</div><div>○ 業務マニュアルの整備・充実</div><div>実施方法の見直し</div><div>その他</div></div>	対応中/対応予定

③ 必要な精度の確保・向上の観点

1 調査の実施目的を確保するための精度管理の実施状況	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
	精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択(複数選択可)	目安としている指標の具体的な 設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている 指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は3回前の調査)
	達成精度	全数調査のため設定していない。なお、回収率の実績は右記のとおり。	—	令和5年度調査 98.4%	令和4年度調査 97.4%	令和3年度調査 91.7%
	回収率・回答率					
	回収調査票数					
	カバレッジ					
	その他					
	○ 設定なし					